

団体名	行常しあわせの森づくり協議会
活動地域	兵庫県加古川市志方町 行常しあわせの森
団体概要	2007年に協議会を結成し、行常地区に后背する中の山、山麓の竹林が荒廃し、農業にも影響を及ぼしたため、毎月3回の活動日に整備活動を実施しています。 4～9月は樹林整備、10～3月は竹林整備を実施。竹林整備では、チップパー投入して、伐倒竹をチップ化で減容し、竹林床、畑等土壌改良などに利用。植樹やシイタケ栽培、果樹育成や、森フェスや小中学生整備体験、園児竹林探検などイベントも実施。

写真①		写真②	
説明①	4/10(土)森フェスで、小学生の子供たちにツリーイング、丸太切り、斜面上り、スラックラインなどで森を楽しんで貰った。	説明②	7/13(水) 県治山課からの要請で、県の「森林整備活動PR番組」で、TV局の取材を受けた。
写真③		写真④	
説明③	10/29(土) ショッピングモールでの、加古川エコフェスタにパネル展示出展と丸太切り体験を運営し、PR活動を行った。	説明④	12/28(水)冬休みの小学生親子の、森林整備体験実施し、作業後は、巨大ハンモック、ターザンブランコ遊びで森の遊びも体験し、森に親んでもらった。

写真⑤



説明⑤

年5回、チップー投入による伐倒竹の粉碎処理作業をします。騒音、振動で大変な作業。

写真⑥



説明⑥

急斜面での竹林整備に頑張る参加者。  
チェーンソー、のこぎりを使用しての間伐作業。

写真⑦



説明⑦

炎天下で有資格者による果樹園の下草刈りです。  
夏期は草刈りが欠かせない作業で多大の時間を要す。

写真⑧



説明⑧

有資格者による、チェーンソー使用での枯木伐倒作業もあります。安全に気を付けて慎重に作業。

写真⑨



説明⑨

愛宕山周回路登山道の丸太橋の補修作業。  
丸太の交換、整地作業を行った。

写真⑩



説明⑩

伐倒した竹は、活動地内に10ヶ所以上積み上げられ、チップーの出番を待つ。